

フォーラム

チェック1 不審者かどうか

- (1) 受付を通っているか
- (2) 声をかけて用件を尋ねる
- (3) 順路を外れていたり不自然な場所に入っていないか
- (4) 凶器や不審なものを持っていないか
- (5) 不自然な行動や暴力的な態度はないか



10月31日、平成28年度前期全体フォーラムを行い、各事業の進捗報告等を行いました。

また、相模原事件を機に急務となっている防犯対策の一環として、法人職員が一堂に集まる機会に、松江警察署のご協力で、防犯講習をして頂きました。気持ちを引き締めて日々の業務に臨みたいと思います。



1) 苦情受付報告

(平成28年4月~12月)

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。

●法人(前年度よりの継続事項)

- ・サマーフェスタ開催時の騒音について改善して欲しい。(地域住民の方から)
- ・サマーフェスタ開催に伴う出し物(ホーランエンヤ)の練習の騒音について、練習場所を変更する等、改善して欲しい。(地域住民の方から)

今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気軽にお申し付け下さい。

なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

■千鳥福祉会苦情解決第三者委員

京 俊輔 氏 (島根大学法文学部福祉社会教室 准教授) TEL 0852-32-6239

黒田 文 氏 (島根大学法文学部福祉社会教室 准教授) TEL 0852-32-6353

島根県施設運営適正化委員会
TEL 0852-32-5913



内部研修実施報告

今年度も弁護士の佐藤力先生にご協力いただき、11月中の3回にわたって権利擁護研修を実施しました。

【職員より感想(抜粋)】

- 法律論中心だったので、(どのような事例が虐待に該当するのか)もう少し現場に沿った具体的な内容が欲しい。
- 後見人制度について初めて学んだ。
- 虐待を完全になくす難しさ、日々変わる法律等、外部情報の大切さを認識。

感染症予防対策

近年、流行に苦しめられたインフルエンザや、重症化の危険性が高いノロウィルスの対策として、オゾン水装置、オゾンガス発生装置を施設内に取り付けました。オゾンにはウィルスを不活性化させる効果があるということで、塩素・次亜塩素いらずで安全性も高く、この冬からの予防効果に期待が高まっています。



オゾンガス発生装置



オゾン水装置

Leaving Care News

2017.02.01 No.127



〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 ワークセンターフレンド
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
共同生活援助事業所
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスばすてる
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



社会福祉法人制度改革について 千鳥福祉会 事務長 原 繁雄

社会福祉法人の起源は、昭和20年代。戦後事情を背景に、国及び地方公共団体と民間が一体となって社会福祉事業の基盤整備に取り組む必要があるとされ、そのために創設されたのが社会福祉法人制度であり、社会福祉法人は、公益性、非営利性を大切に、戦後の社会基盤整備に大きく貢献した。

その後、豊かさを取り戻した日本の社会や時代の変化に応じる見直しが求められ、平成9年介護保険法成立、平成12年介護保険制度導入。行政措置が前提にあって利用できる措置制度は契約制度に変更。介護保険を財源に、一般企業、NPO法人等多様な経営主体によるサービス提供が可能に。

そして、平成15年の社会福祉基礎構造改革は介護保険の対象外である障がい者福祉分野にも具現化され、契約によるサービス利用が開始された。しかし、サービス利用者数の増大や財源問題、サービス水準の地域間格差など新たな課題が生じ、これらを解消するため障害者自立支援法が平成17年に公布され、平成24年からは障害者総合支援法へと改正され、現在に至っている。

時代の要請に対応してきた社会福祉法人に対して、どのような指摘があるのか。

- 高い利益率を有し、社会福祉事業等への積極投資や地域還元することなく黒字を貯め込んでいるという内部留保に関する指摘
- 近年の公益法人改革等により情報公開が格段に進んでいるにもかかわらず社会福祉法人の財務諸表等情報の開示が不十分
- 高い公的性を持つ法人制度でありながら私物化とも取られかねないガバナンスの欠如
- 社会福祉法人に対する税制上の優遇措置や助成に対するイコールフットイング論
- 生活困窮者の支援なども含め、制度では対応できない地域社会の福祉課題に積極的に対応していくべき地域ニーズへの不十分な対応、社会貢献に対する厳しい意見…

こうした指摘をもとに社会福祉法人制度の見直しが図られ、今まさに本格的な改革が始まった。個々の社会福祉事業について問われているのではなく、実施主体としての社会福祉法人のあり方、法人を主体とした社会福祉法人経営のあり方が問われている。

社会福祉法人制度の創設期に求められた公益性や非営利性といった原点に立ち返るよう国が警鐘を鳴らしている。社会福祉法人制度の公的な性格を再確認し、国から求められる改革にしっかりと対応していくことで、社会の負託に応える公器として、社会福祉法人が国民や社会にとって必要であること、存在意義を改めて示していく契機となさなければならないと考える。



多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ 管理者 神田 弘治

新年明けましておめでとうございます。
 新しい年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。
 さて、昨今の福祉事業におきましては、現代社会で発生する事件、事故や自然災害へのリスク対応、社会公益活動の義務化等、求められる環境は厳しさを増し、福祉現場は対応に苦慮している状況下にあります。そんな中ではありますが、この仕事に遣り甲斐をもち、利用者様一人ひとりを大切に思う志のある職員と共に、利用者様の人生を支える責任や日々の笑顔を追いかける事を忘れず、知恵を出し合い、力をあわせ、一つ一つ苦境を乗り越えて行きたいと思ひます。
 事業運営にご理解頂き、支えて下さる皆様への感謝の気持ちを忘れず、今年も頑張っていきたいと思ひますので、本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

多機能型事業所ワークセンターフレンド 管理者 松浦和志

新年明けましておめでとうございます。
 フレンドは、開所以来1月2日から仕事始め。法人内職員の協力を得て、クリーニング業務からスタートしています。今年の元旦は、日曜日となり例年のような忙しさは感じられず通常の業務感覚の中で三が日を乗り越える事が出来たと思ひます。
 今年は、酉年。実りの多い、成果が得られる年にしたいのですが、卵の中にはたくさんの課題が入っており中々殻が割れない状況です。「和」「輪」を掲げ、殻が割れるように、こつこつと頑張っていきたいと思ひます。今年もよろしくお願い致します。

放課後等デイサービス事業所 ばすてる 管理者 山崎雅子

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。
 平成24年から開所しました放課後等デイサービス事業所ばすてるも、おかげさまで6年目を迎えます。
 昨年は初めて保護者の方も一緒に参加出来るクリスマス会を企画し、たくさんのご家族に参加を頂きました。楽しい時間をご家族の方と共に過ごされ、会場は温かい笑顔でいっぱいでした。今後も交流の場を大切に、また、外部から協力して下さる絵本の読み聞かせの先生、音楽療法の先生や体操教室の先生、バスアート教室の先生などたくさんの方に支えて頂いて成り立っている事に感謝し、このご縁を大切にしていって1年にしたいと考えております。
 ばすてるの職員は日々、お子さんと関わらせていただく中で成長や思いもよらない発想・発見と一緒に喜んだり、驚かされたりと笑顔が絶えません。貴重な成長期の支援に携わらせて頂く事にも感謝し、これからも職員一同努めて参りますのでよろしくお願い致します。

相談支援事業所 ひまわり 所長 竹内淳子

「介護はどうしてこんなに無駄で貴いのだろう」
 「認知症はどうしてこんなに腹立たしく愛おしいのだろう」
 「母はどうしてこんなに小さくて大きいのだろう」
 ——(藤川幸之助作)

今の我が家の状況と重なります。人は年を取っていくものだと自分も含め日々の生活で実感。
 相談員が伴走者となり、今年も笑顔のひとつでも多くみられますよう、職員一同、精一杯進んでまいります。

障がい者支援施設持田寮 施設長 江指裕嗣

新年を迎え、改めて課題が山積みだなと感じていた矢先、たまたま点けたNHKのクローズアップ現代の話題に心奪われました。『サピエンス全史・文明の構造と人類の幸福』と言う話題の本についての特集でした。
 「サバンナの負け犬だったサピエンスが今の繁栄を築いたのは妄想力のおかげ」という主題。「農業は史上最大の詐欺」「資本主義というフィクションの中に我々は生きている」等といった奇を衝いたような主張にあっけにとられました。ですが、その時代時代で創られた社会構造による恩恵は限られた権力者に集中し、多くの大衆は創られたフィクションの中で何も気づかずに暮らしていく。文明の発達と比例せず、個人の幸せはネアンデルタール人の頃からさほど変わっていない、という話には妙に納得してしまいました。
 同時に自分の中に強烈なパラダイムシフトがあり、どんな状況でも妄想力で塗り替えることが出来るのか、と変な力を得た気になってしまいました。課題の大きさに押し潰されそうになる。私達の仕事の利用者のみなさんの暮らしを少しでも良いものに近づけているのだろうかと不安になる。そうしたことがあっても、肯定的に考える事が大事だ、とこの所、自分に言い聞かせる日々です。
 本文中に「歴史を研究するのは未来を知るためではなく、(中略)私たちの前には、想像しているよりもずっと多くの可能性があることを理解するため。」というくだりがあります。このことを信じて前に進む、再開の年にしたいと思っています。

共同生活援助事業所 管理者 遠所三津江

元旦の朝、初日の出を拝もうと、一念発起。薄暗いうちから出掛け、冷たい海風の中で今か今かと待ち続けました。
 身体がすっかり冷え切った頃になって、黒い雲と稜線のあいだの隙間がじわじわと真っ赤に染まると、マグマのように膨らみ始め、やがて神々しい光の玉が姿を現しました。まるで「産みの苦しみ」のようにとても長く感じました。「頑張れ!太陽!」そして、ついにまあるく光り輝くその姿を見た瞬間には、ホッとすると同時にとても心を打たれました。
 人生も帰りの道、いろいろ考えることも多いですが、ささやかな日常に感動を積み重ねていけるよう、柔軟な心を持ち、ひたすら一生懸命に働かせて頂きたいと思ひます。本年もよろしくお願い致します。

居宅介護等事業所 ケアセンター大空 管理者 中濱早織

あけましておめでとうございます。
 昨年は、気持ちの余裕もなく、慌ただしい一年ではありましたが、皆様を支えられ無事に乗り切ることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。
 新年早々にお話しすることではないかもしれませんが…
 持田寮に入所されている80代の方がおられます。その方と私は25年の関わりがあり、いつもは「はまちゃん」と声をかけてくれるなど、おじいちゃんのような存在の方です。その方が昨年、「ガン…余命…」と宣告され、入退院を繰り返されるまでの状態になりました。病状を聞いた時はショックで…、それでもと度々様子を聞いたり、顔を見に行ったりしています。年末退院され、様子を見に行くとベッドで朦朧状態だったのでついこいらいに声をかけました。
 やはり「はまちゃんだ」と答えてくれ、思わずおでこにチューと…すると、ニコッと笑っておられました。
 その日に担当と施設長とミニクリスマス会をされたようで、大好きな高倉健のポスターを指差しながら説明もしてくれて、うるうるでした。私を持田寮で育ててくれた方の一人です。施設での看取りも大切…。最後まで関われる存在でありたい…。改めて法人の姿、法人の理念を強く感じています。
 今年も精一杯努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。